

ザリガニ捕まえて顕微鏡買った

・ 逆井漫歩⑦

▼昭和二十三年五月、ザリガニ捕獲で六、二三九円を得て顕微鏡二基、ラジオ一台購入。

お隣り南増尾の土小学校が、この十一月で創立百周年を迎えた。それを記念して同校内に、ふるさと資料室が作られた。

昭和初期のぐらしと道具をかつての村内から集めて教室の二部屋を使つて展示している。やはり児童数が減少しているため空き部屋ができ、それを利用したものだという。

家の中の道具、米作りの道具の百点を展示、台所で使うものには糸巻き車、せいろ、火消しつぼなどがあり、堂々たるかまどまで。

畳み敷きの部屋もできており、写真のように懐かしくもつましい昔に座り込むこともできる。やぐらこたつ、火鉢、あんかなどなど。

農具もズバリ。足踏み脱穀機は勤労奉仕でお世話になりました。驚いたことには、千歯こきがある。除草機もある。苗を植えるところに印を付けるハツタンコガシというのは知りませんでした。

明治五年に増尾学校が万福寺の仮校舎で発足、明治三十二年に増尾尋常高等小学校と改称。これから百年となるようだ。明治五年から数えれば、すぐ創立百三十年記念となると思うけれど。

昭和二十四年にはドングリを拾い、五万円を稼ぎ、放送設備を整えたという。思えば戦後日本がもつとも貧しかった時代である。

なお、教科書類も展示。いつでも参観して下さいとのことです。

